

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



勉強している子供たち! (カンボジア)

2026
07
2026年6月 第298号

毎月毎月、温かい愛を持って子どもたちを支えてくださっている皆様、心から感謝いたします。先日、ニュースレターを見てくださっている方から、プノンペン大学を卒業し、日本での専門学校もしくは就職を検討していたカンボジアのNAのために、留学生として学ぶ機会が開かれますように、奨学金の貴重な情報提供とご協力がありました。まだ検討中ではありますが、このように子どもたちに関心を向け、実際の助けをいただけることを、とても嬉しく思います。私が住んでいる長崎でも、ザンビアの礎の石にしばらく滞在して助けてくださった方が長崎大学院に今おられ、いろいろと関わりが開かれています。また特定非営利活動法人 礎の石孤児院のアプリが間もなく完成します。皆様もダウンロードして、ぜひ、ご活用ください。

先月もご報告しましたが、雑誌「雲の間にある虹」の6月号から「続・礎の石」という題で、礎の石孤児院のこの連載を20年ぶりに始めました。読んでいただけると嬉しく思います。また楽天ブックスより、「礎の石」の本が電子書籍で出されました。礎の石孤児院の歴史と今までの働きの原点がよくわかるので、読んでいただけると嬉しく思います。

皆様の変わらないサポートに心から感謝いたします。これからも、よろしくお願いいたします。

2026年6月15日(月)
認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 木原 真

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。5月の初め、政府機関から「路上に捨て置かれた生後3か月ほどの女の赤ちゃんがいる」との連絡が入りました。受け入れ先が必要とのことで、まずは状況がはっきりするまで預かることになりました。その後、家族のことがいろいろわかって来て、両親による養育放棄であることが分かり、約3週間後に孤児院で正式に受け入れることとなりました。これから孤児院の中で、Sが健やかに元気に成長して行きますよう、これからSをどうぞよろしくお願いたします。これまで孤児院で一番小さかった1歳7ヶ月LKは、初めて赤ちゃんを見た時、とても不思議そうな顔をしていました。しかし1ヶ月ほど経った今では、「赤ちゃんのSを抱っこしたい」と言って近づいてくることもあり、微笑ましい姿を見せてくれています。カンボジアは雨期に入り、先日は朝から夕方まで断続的に雨が降り続き、庭に溜まる雨水を排水するために電動ポンプを2台使用しました。短時間に大量の雨が降ることも多いため、建物や子どもたちの生活が守られるよう引き続き備えていきたいと思ひます。



Sを抱っこするLK

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

2026年6月8日(月)、2026年度～2027年度の新学期が始まりました。しかし、その日の朝礼(国旗掲揚式)の最中に、マグニチュード7.8の地震が発生し、その30分後にはさらに2回の余震がありました。先週には大雨による土砂崩れも発生し、就学支援生たちの家族が働いていたゴミ処理場が被害を受け、多くの家庭が収入源を失いました。地域の方々が支援を行っていただきましたが、寄付された食料が尽きた後の生活については依然として不安が残っています。このような困難な状況の中でも、就学支援生やスタッフ、またその家族で、地震や災害によってけがをした者が一人もいなかったことを、心から感謝しています。今年度も就学支援生たちが学校で勉強を続けるために、学校の登録料、授業料、学用品、制服、靴、カバンなどの費用として、合計6,890.53ドル(約110万円)が必要です。この必要のために、皆様のご支援を心よりお願い致します。皆様のご家族、お仕事のが守られ、さらに発展と祝福がありますように。今後ともフィリピンの子どもたちへのご支援を、どうぞよろしくお願いたします。



セシル牧師(グレイススタッフのご主人)と共に
スモーキー・マウンテンの方々へ
食料を届けて下さったジェノさん(右端)

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? 皆様の常日頃の温かいご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアは日本と真逆の季節で今が冬。朝方は12度まで冷え込んでます。フレンチスクールとのパートナーシップは順調に成長していて、先週の土曜日は共にクロスカントリーのイベントに行ってきました。今後フレンチスクールは結構遠くに移転するのですが、とても緑豊かな美しい場所で、今回のイベントはそこで開催されました。コーナーストンの子どもたちは、たくさんメダルを首に下げて、誇らしげに帰ってきました! ここ数ヶ月で、子どもたち数人が家族や親戚を病気で亡くすることが続いています。近所に住むお母さんの一人はアルコール中毒の中でHIV、腎臓病、癌と闘いながら、何度も学校に来ては経済的支援をお願いしてきてのですが、残念な事に、今の私たちにはその力がありません。今年中に何とか進めたい中等学校建設の歩みも遅く、正直気が挫けそうな時も多々ありますが、子どもたちの明るい笑い声や、仲間たちから励ましをもらいながら引き続き努力をしようと思っています。



クロスカントリーにて

松本弘子さんのイラスト



シーソーで遊ぶカンボジアの男の子達

礎の石孤児院 公式アプリ

支援情報・活動レポートを
アプリでいつでも確認できます。



礎の石孤児院 × Congrant寄付

ワンクリックで、今日から支援を
始められます。
子どもたちの笑顔を、あなたの
寄付で守ってください。

